

令和5年度ダイバーシティ経営の機運醸成に係る広報業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和5年10月23日（月）～10月25日（水）
2	場 所	－
3	出席委員	広島県総務局広報課長 広島県環境県民局わたらしい生き方応援課長 広島県商工労働局雇用労働政策課長 広島県商工労働局経営革新課長 広島県商工労働局働き方改革推進・働く女性応援課長
4	議 題	令和5年度ダイバーシティ経営の機運醸成に係る広報業務公募型プロポーザルに係る最優秀提案者の選定について
5	担当部署	広島県商工労働局働き方改革推進・働く女性応援課
6	開催方法	持ち回り
7	議事内容	<p>令和5年度ダイバーシティ経営の機運醸成に係る広報業務委託先候補とする最優秀提案者の選定にあたり、次のとおり委員から評価・選定理由を確認した。</p> <p><b>【株式会社タナベコンサルティング】</b>  <u>〔対談等の企画、実施及び記事の制作〕</u> の評価項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案の記事の構成に興味を引くインパクトが乏しい。</li> </ul> <p><u>〔「新聞広告の制作及び掲載」以外の広報〕</u> の評価項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞に関連する媒体以外に提案がなく、広がりが期待できない。</li> </ul> <p><u>〔統括意見〕</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画設計に工夫がみられる適当な提案である。</li> <li>・県内中小企業の実態をよく理解され、人材戦略コンサル実績などを踏まえた記事内容になることが期待できるが、ターゲットの興味を引く紙面となるかなどクリエイティブ力に不安が感じられた。</li> <li>・デジタル記事へ誘導する提案が具体的でなく、成果が予想しにくい。</li> <li>・県内中小企業の実態を踏まえ、コアターゲットの行動変容につながるコンテンツの制作が期待できる。</li> <li>・キャッチコピーについては、再考を希望する。</li> <li>・記事のデザイン・配置に読者の注目、関心を引くようインパクトを与える工夫が欲しい。</li> <li>・ターゲット理解が深く、ターゲットのインサイトを意識した記事の狙いが明確で、中国新聞読者以外の媒体（日経電子版）提案があるのはよい。</li> <li>・アウトプットである記事レイアウトのメリハリがあまり感じられない。</li> </ul> <p><b>【株式会社中国新聞アド】</b>  <u>〔対談等の企画、実施及び記事の制作〕</u> の評価項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の大きさ、色に変化をつけ、写真の配置など、関心を引くレイアウトの提案となっている。</li> </ul>

〔対談者等の選定について〕の評価項目について

- ・県内認知度もあり、女性活躍のロールモデルにもなるタレントを活用し訴求力を高めると期待できる。

〔「新聞広告の制作及び掲載」以外の広報〕の評価項目について

- ・様々な媒体を活用し、多くのターゲットに訴求することが期待できる。

〔「優位性」の評価項目について

- ・Web広告の分析にAIを活用する提案など評価できる。

〔統括意見〕

- ・新聞広告の紙面構成やレイアウトに工夫がみられる適当な提案である。
- ・データの見せ方、紙面やデジタルサイトの構成など読みやすいデザインとなっている。
- ・Web広告によるデジタル記事への誘導が提案され、解析レポートで改善点の提案が期待できる。
- ・視認性が高く、コアターゲットに親しみやすい紙面となっている。一方、対談者等について、1社だけの選定となっており、幅広いターゲット層の共感に向けては少し懸念が残る。
- ・記事のデザインが文字の色や大きさに変化をつけるなど、関心を引く工夫がされている。
- ・記事イメージはメリハリがあり読みやすいのはよいが、特定企業のPRにしが見えない。
- ・街頭ビジョンの妥当性が疑問であり、事業目的、ターゲット理解が浅いのではないか。
- ・中国新聞デジタルへの流入施策と広告分析はよいが、PDCAに必要なデータがどこまで取れるか提案が不明瞭だった。

**【株式会社第一エージェンシー広島支社】**

〔実施方針〕の評価項目について

- ・業務を効果的に実行するための課題を明らかにした上で提案している。

〔対談等の企画、実施及び記事の制作〕の評価項目について

- ・メディアミックスの考えを整理して提案している点は評価できるが、そのことによる効果が発揮されるのか分かりにくい。

〔「新聞広告の制作及び掲載」以外の広報〕の評価項目について

- ・FMのリスナーに50代・60代が多くても、経営者等とは限らないのではないか。

〔統括意見〕

- ・ダイバーシティ経営の取組に対するハードルを下げる工夫がみられる適当な提案である。
- ・デジタル媒体における紙面とのスピノフの作り込みは面白いと思った。
- ・デジタル広告の年間目標PV数160,000回は誤りでは。
- ・広報媒体をミックスさせた企画に独自性があり、より多くのリーチ数の獲得につながることを期待できる。
- ・キャッチコピーについては、再考を希望。

	<ul style="list-style-type: none"><li>・広報媒体の連携が提案の特徴だと思慮するが、そのメディアを選択した点や連携のメリット・効果を分かりやすく明示し、優位性があることを示して欲しかった。</li><li>・事業の目的をしっかりと理解した鼎談企画となっており、成果を出している経営者以外の視点を組み込む点は理解を深める一助になるかと思う。</li><li>・中国デジタルの流入施策として、ターゲットを絞った媒体選定がよい。</li><li>・様々な音声・映像コンテンツなどのタッチポイントを用意しているのは評価できるが、FMがどこまで効果があるか不明瞭。</li></ul>
--	---